

第45期 中間株主通信

2023年4月1日から2023年9月30日まで



カプコンは今年で
創業40周年を迎えました。



©CAPCOM

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

ここに当社グループ第45期中間期(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の事業の概況と業績についてご報告申し上げます。

当中間期(第2四半期連結累計期間)におきましては、さらなる進化と拡大を続けるグローバル市場に対応するため、デジタル販売の継続的な強化を主軸とした成長投資を積極的に推し進めました。また、安定的、持続的な成長のため、経営上の優先課題である人材投資戦略について、人事組織の強化や「クリエイティブスタジオ」の新設、パートナーシップ制度の導入、福利厚生制度の拡充など職場環境のさらなる改善等を実施しました。加えて、開発力・技術力の持続的強化のため、コンシューマゲーム開発における3DCG制作技術を強みとする開発会社を完全子会社化するなど、企業価値の向上を図ってまいりました。

このような経営戦略のもと、中核事業であるデジタルコンテンツ事業において、主力シリーズの大型タイトルの投入や、デジタル販売を通じたリピートタイトルの積極的な販売推進により、グローバルに販売本数の増加を図りました。これにより、当中間期におけるデジタルコンテンツ事業の販売本数は、2,260万本と前年同期2,130万本を上回り、当社グループのコンテンツ価値向上に大きく寄与しました。さらに、これらの主力コンテンツと映像作品やライセンス商品、eスポーツとの連携によるIPの持つブランド力の向上に努めました。また、アミューズメント施設事業における効率的な店舗運営や新業態店舗の推進、アミューズメント機器事業における当社グループの人気IP活用等によるリピート販売などの施策により、収益の向上を図りました。

この結果、当中間期の売上高は749億34百万円(前年同期比52.7%増)、営業利益は338億35百万円(前年同期比54.5%増)、経常利益は361億64百万円(前年同期比57.3%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は252億87百万円(前年同期比56.7%増)となりました。

なお、中間配当金につきましては、1株当たり27円とさせていただきます。

当社は株主の皆様をはじめ、ステークホルダーの皆様からのご支援等により、6月に創業40周年を迎えました。本周年記念の特設サイトとしてデジタル観光地「カプコンタウン」の開設に加え、様々な施策を講じております。

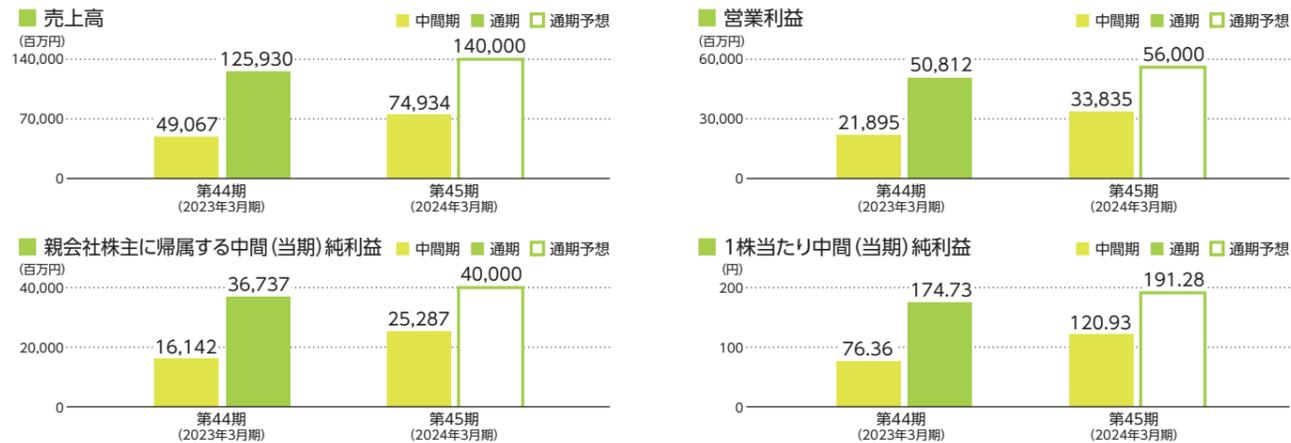
引き続き、企業価値の持続的向上を図り、中長期においてさらなる飛躍を目指してまいりますので、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

代表取締役会長
最高経営責任者(CEO)

代表取締役社長
社長執行役員
最高執行責任者(COO)

決算ハイライト



事業の概況

デジタルコンテンツ事業

当社グループのeスポーツ展開をリードするシリーズ最新作『ストリートファイター6』(プレイステーション 5、プレイステーション 4、Xbox Series X|S、パソコン用)を6月に発売し、グローバルに幅広く支持されました。その結果、247万本を販売し、業績向上に大きく貢献しました。

また、4月に発売した『ロックマンエグゼ アドバンスドコレクション Vol.1・Vol.2』(Nintendo Switch、プレイステーション 4、パソコン用)が、安定した人気により142万本を販売した一方、7月にオンラインチーム対戦の意欲作である完全新作タイトル『エグゾプライマル』(Xbox Series X|S、Xbox One、プレイステーション 5、プレイステーション 4、パソコン用)を発売し、100万ユーザーを突破するなど新規IPの創出に注力しました。

さらに、リピートタイトルにおいては、3月発売の『バイオハザード RE:4』が、プレイステーションVR2対応の無料タイトルアップデートなどの継続的な施策により、累計545万本を販売し、リピート販売拡大に大きく寄与しました。加えて、積極的なプロモーションによるIPの認知拡大と新たなファン層の獲得を図るとともに価格施策等を行い、『モンスターハンターライズ』や『バイオハザード RE:2』など、シリーズタイトルを中心に販売しました。その結果、リピートタイトルの販売本数が1,760万本と前年同期1,605万本を上回り、収益を押し上げました。

モバイルコンテンツにおいては、『モンスターハンター』シリーズの最新モバイルゲーム『モンスターハンターナウ』(iOS、Android用)が9月に配信されました。同ゲームのグローバルダウンロード数は500万を突破し、IPの認知拡大に寄与しました。

また、9月に開催された「東京ゲームショー2023」において、今後発売予定のタイトル試遊などを中心とした当社出展ブースが活況を呈しました。加えて、同期中に発表された「日本ゲーム大賞2023」において、『モンスターハンターライズ：サンブレイク』が年間作品部門で「大賞」、『バイオハザード RE:4』が「優秀賞」を受賞するとともに、フューチャー部門で『ドラゴンズドグマ 2』が選出され、今後のタイトル販売に弾みをつけました。

この結果、売上高は612億75百万円(前年同期比69.9%増)、営業利益は345億3百万円(前年同期比58.1%増)となりました。



『ストリートファイター6』



『エグゾプライマル』

アミューズメント施設事業

新型コロナウイルス感染症の5類への移行により経済活動が回復した状況下、既存店の効率的な店舗運営や新業態での出店効果などにより収益拡大を図りました。

当中間期において、4月に子供向け遊具施設の「キッズバナネット 静岡店」および6月に体験型施設の「クレイジーバナネット イオンモール新居浜店」(愛媛県)をオープンしましたので、施設数は47店舗となっております。

この結果、売上高は91億69百万円(前年同期比25.2%増)、営業利益は11億28百万円(前年同期比66.5%増)となりました。



『クレイジーバナネット イオンモール新居浜店』(愛媛県)

アミューズメント機器事業



『戦国BASARA GIGA』



『モンスターハンターワールド：アイスボーン』

パチスロ市場がスマートパチスロのけん引により好調を維持している環境下、当社グループのスマートパチスロ第一弾となる『戦国BASARA GIGA』を8月に発売し、15千台を販売しました。

また、昨年8月発売の『新鬼武者2』および今年1月発売の『モンスターハンターワールド：アイスボーン』が、市場での高稼働を受け、リピーター販売が順調に推移しました。

この結果、売上高は25億98百万円(前年同期比14.0%減)、営業利益は17億81百万円(前年同期比3.5%増)となりました。

その他事業

当社グループのタイトルブランドの価値向上に向け、CG長編映画『バイオハザード：デスアイランド』が7月に全世界で公開されるなど、引き続き主力IPを活用した映像化やキャラクターグッズ展開などに注力しました。

また、eスポーツについては、7月から開催の国内チームリーグ戦「ストリートファイターリーグ：Pro-JP 2023」において、シリーズ最新作の『ストリートファイター6』を投入しました。さらに、8月から世界各地で開催の「CAPCOM Pro Tour 2023」において、当社史上最高の賞金総額200万ドル以上に拡大して実施するほか、シンガポール等でのイベント実施によるeスポーツの振興など、グローバル規模でのユーザー層の裾野拡大に向けた施策を講じました。

この結果、売上高は18億91百万円(前年同期比28.8%減)、営業利益は6億14百万円(前年同期比51.2%減)となりました。



『ストリートファイターリーグ：Pro-JP 2023』

会社の概要

(2023年9月30日現在)

社名	株式会社 カパコン (CAPCOM CO., LTD.)
設立	1979年5月30日
創業	1983年6月11日
主要な事業内容	家庭用テレビゲームソフト、モバイルコンテンツおよびアミューズメント機器等の企画、開発、製造、販売、配信ならびにアミューズメント施設の運営
資本金	332億39百万円
従業員数	連結3,521名(単体3,181名)
ウェブサイト	https://www.capcom.co.jp/

取締役および監査等委員である取締役 (2023年9月30日現在)

代表取締役会長 最高経営責任者(CEO)	辻	本	憲	三
代表取締役社長 社長執行役員 最高執行責任者(COO)	辻	本	春	弘
取締役 副社長執行役員 最高人事責任者(CHO)	宮	崎	智	史
取締役 専務執行役員	江	川	陽	一
取締役 専務執行役員 最高財務責任者(CFO)	野	村	謙	吉
取締役 専務執行役員	石	田	義	則
取締役 専務執行役員	辻	本	良	三
社外取締役	村	中	徹	豊
社外取締役	水	越	豊	渉
社外取締役	小	谷	渉	郎
社外取締役	武	藤	敏	郎
社外取締役	廣	瀬	由	美
取締役 (常勤監査等委員)	平	尾	一	氏
社外取締役 (常勤監査等委員)	岩	崎	吉	彦
社外取締役 (監査等委員)	松	尾	眞	

IRサイトのご案内

当社では、株主や投資家の皆様に最新情報をタイムリーに提供することを目的として、ウェブサイトを活用したIR活動にも注力しております。ここでは、株式情報や経営戦略に加え、販売データやアナリストの評価など様々な情報提供を行っております。

スマートフォンからもIR情報へアクセス

QRコードの読み取りに対応したスマートフォンをお持ちの方は、右の画像を読み込むことで簡単にIRサイトにアクセスできます。

<https://www.capcom.co.jp/ir/>



※「QRコード」は株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

株式の状況

(2023年9月30日現在)

■発行可能株式総数	600,000,000株
■発行済株式の総数	266,505,623株
■株主数	25,549名
■大株主(上位10名)	

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	31,098	14.59
株式会社クロスロード	21,867	10.26
ジェーピー モルガン チェース バンク 380815	17,594	8.26
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	11,314	5.31
辻 本 美 之	7,963	3.74
辻 本 春 弘	6,026	2.83
辻 本 良 三	5,968	2.80
辻 本 憲 三	4,039	1.90
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (株式付与ESOP信託口・76744口)	3,994	1.87
ステート ストリート バンク ウェスト クライアントトリーティー 505234	3,430	1.61

(注) 持株比率については、自己株式数(53,394千株)を控除して算出しております。

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
中間配当金受領株主 確定日	9月30日
株主名簿管理人および 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	T541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話(通話料無料)0120-094-777
公告方法	電子公告 当社のウェブサイト(https://www.capcom.co.jp/)に掲載します。 ただし、やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
上場金融商品取引所	株式会社東京証券取引所

【ご注意】

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則として株主様が口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、同行にお問い合わせください。なお、同行全国各支店においてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

株主総会資料の電子提供について

改正会社法により、株主総会資料の電子提供制度が施行されました。従来どおり書面による株主総会資料の提供を希望される株主様は、書面交付請求のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電子提供制度専用ダイヤル
電話 0120-696-505
(受付時間：土・日・祝日等を除く平日午前9時～午後5時)

